

4. 手づくりのお弁当を手渡しで届ける

～食は命、地域はひとつの家族である～

配食サービス ひまわり

代表 織本 孝子

1. 活動の目的

子育ても終わり、さて、これからどう生きていこうか考えていた時、テレビに放映された「ふきのとう」の活動が刺激となり、近所のPTAや生協の仲間たちに呼びかけて、1991年2月に会が発足しました。「お年寄りがひとり、ぼつんと庭に佇んでいる。いもの煮っころがしでもひとつ届けてやろうか」故平野真佐子さん（ふきのとう代表）の言葉です。

いざ、自分たちの思いを実現しようとするとお弁当を作る場所の問題が大変でした。公民館や自治会館、個人の台所など、なべ釜下げての移動や食中毒などの事故がないように細心の注意を払い、研修会や交流会へ参加して一步一步前へ進めました。

最初は、9人の仲間と20食から始まった配食活動も、理解ある多くの人達に支えられて、地域の中で頼りにされ知られるようになりました。2001年4月に賛助会員の方から、築35年の2軒長屋左半分を増改築自由、格安の家賃で提供して頂き、NHKわかば基金、加藤記念老人福祉基金、藤沼昭彦チャリティ コンサートなどの強力な支援を受けて、配食拠点「ひまわりハウス」を持つことが出来ました。

気がつけばいつの間にか19年、雨の日も風の日も休むことなく、毎週水曜日に、野菜たっぷりの栄養バランスのいいお弁当を、季節の言葉やイラスト入りの献立表とともに届けています。「まっていたのよ」「美味しかったわ」「ありがとう」の言葉に後押しされて、8つのチームが競い合って作る母親の味を、身の丈に合った安心、安全な自転車に乗ってお互いの元気の素を配達に行っています。

2. 活動の概要

会員はお弁当を作る人も、食べる人も、支えてくれる人も皆同じ仲間、自分ができることに努力し、楽しく暮らすことを目標にしています。毎月第1月曜日にボランティア全体会が開かれ運営方針が決まります。現在、ボランティア45名、メンバーさん56名、賛助会員68名です。高齢化が進み毎月2～3名の変動が有ります、ただし40代、50代の若い人の参加はありません。平均年齢はボランティア65歳、メンバーさん85歳、賛助会員68歳です。

配食は年間通して毎週水曜日の夕食弁当として75食作り、その内、15食から20食が当番弁当や内部消費となります。ボランティアとして働き、買い物をして家へ帰り、夕食を作る体力が残っていないのです。せめて主菜となる一品でもと90食分を作り、15

食分をチョイスして原価販売しています。また、異常気象や台風の時には車による配達やステーション方式といって拠点まで行かなくても近くで受け取れるようにしています。

居場所作りの活動は、毎月金曜日の絵手紙の会、4月のふるさと歴史散歩、6月のお楽しみバザー、夏休み体験ボランティアの受け入れ、親睦旅行など定例化したものの他に、各種料理教室、文化祭、お茶の会など多岐に渡り、それぞれの人が思い思いに参加して楽しんでいます。また11月には見沼区ふれあいフェアへ出店して自分達で作った手作り品を販売して資金の足しにしたり、魅力ある人との出逢いを楽しみにしています。

なべ釜下げての時から縁の下の力持ちとして助けてくれたのがボランティア有志の旦那さまが結成した「コスモスの会」、毎月小遣いから1000円ずつ出資して気持良く送り出してくれます。駐車場代、電話料金、家賃の一部となっています。また、ボランティア2世のコーラスグループ「ドロップス」は音大卒のママさん達で結成、地元で活躍しながら、4月の総会時につけてエールを送ってくれます。

同じ地域内で配食活動するエンジュ、つくしんぼの会、ひまわりに包括支援センターや介護施設で働く人達も加わり「配食ネットワーク見沼」を立ち上げ、3ヶ月に1度区役所の一室を借りてきめ細かな情報交換や今後の在宅介護の問題点、認知症やうつ、引きこもり、孤独死、低栄養素、健康体操、口腔ケアなど具体的な事例をもとに話し合いを続けています。他に、献立会議年2回開催、毎月ひまわり通信200部発行してます。

ひまわり会員

会員区分	会員数			平均年齢	備考
	男性	女性	合計		
メンバー	17名	39名	56名	85歳	お弁当を利用する人
ボランティア	3名	43名	45名	65歳	お弁当を作る人、配達する人、会計する人
賛助会員	4名	64名	68名	68歳	活動を支援する人
会員総数	24名	146名	170名		2009年現在

配食活動

	年間配食日数	年間配食数	1日平均数
お弁当	47日	3,522食	75食
カレー弁当	4日	197食	50食
合計	51日	3,719食	

お弁当費用（単価 7 6 6 円）

費用区分	費用内訳	負担比率	備 考
お弁当売価	5 5 0 円	7 2 %	利用者負担
会員会費	7 9 円	1 0 %	不足分の補てん
助成、寄付金	7 4 円	1 0 %	〃
バザー他	6 3 円	8 %	〃
合 計	7 6 6 円	1 0 0 %	お弁当単価

～ お弁当づくり ～



～ お弁当の配達 ～



3. 決算報告書

単位円

収入 大同生命事業団助成金		200,000	
支出項目	数量	単価	金額
サイクルショップ マイウェイ			
ブリジストンCR60P	2	26,000	52,000
樹脂カゴ	2	1,500	3,000
防犯登録料	2	500	1,000
小計			56,000
小川自転車店			
ブリジストンJB70P	1	27,000	27,000
CR40P	2	25,000	50,000
CR60P	1	26,000	26,000
CR63P	1	30,000	30,000
樹脂カゴ	5	1,500	7,500
防犯登録料	5	500	2,500
小計			143,000
ステッカー作成費	7	315	2,205
小計			2,205
合計 + +			201,205

自転車店を2店にしたのは、空気入れ、パンク修理、微調整など配達する人の利便性を考え分けてみました。

「配食サービスひまわり」のステッカーを、盗難よけと安全確認の意識高揚のために付けました。